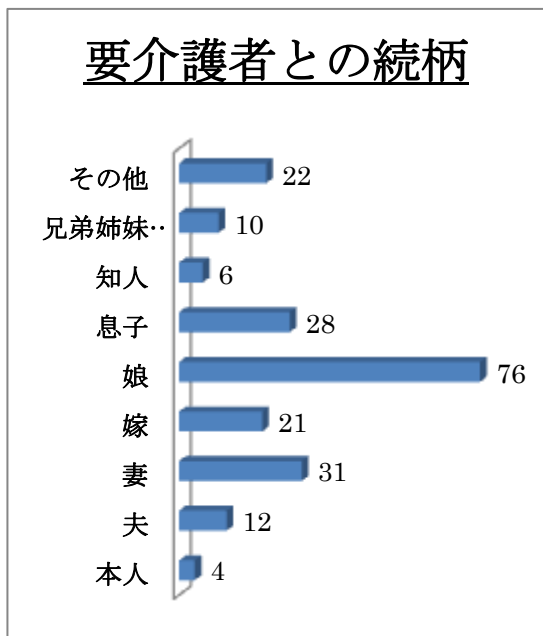


22年度電話相談

電話相談	374件
来所(面談)	87件
訪問	5件
その他	18件
コールセンター	484件
出前相談	91件
サポートほっと	575件



認知症介護相談「サポートほっと」相談傾向・概要

40代後半から50代のシングル娘・息子からの相談が増え、仕事と介護の両立、介護者の心身の疲弊から、孤立しがちな環境下で介護している。相談者の生活環境整備は介護相談だけでは解決できない状況で、困難事例となっている。又、介護者の高齢化により介護者自身の将来の不安、生活の構築、精神疾患の問題ケースなど複合的な問題が増え、専門機関との連携が必要な事例が増えています。「サポートほっと」での面談、専門医相談は医療的なカウンセリングやアドバイスで介護者の大きな支えとなりました。平成14年度に発足した「サポートほっと」認知症相談事業は22年度より、「川崎市認知症コールセンター」に受け継ぎ1年が経過、今までの相談実績の周知から継続相談が多く、相談件数全体の53%を占めている。

